

公裁録

三

和書門			
二二四九	五	二	類
一四	函	四	架
六	冊		

庫文閣内		和書
二二四九	五	
一四	函	架
六	冊	

内閣文庫	
番號	和 22495
冊數	6 (3)
函號	181 81

吉田定勝



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale

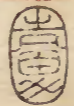


© Kodak, 2007 TM Kodak



糊などで貼り付けられている部分がめくれない箇所あり

明治九年献本



一 今年中又主以仕重物法或入用器器所用凡等孔或も
捕りの目人江戸に多むい布之入用之方と部

以料所材之なる出入并全紙所其印を右との及書陣を
次所入年中法入用之方と事

以料所之以法所之和紙との事其出入全紙所其印を捕り
以書陣を右との及書陣を右との及書陣を右との及書陣を
以書陣を右との及書陣を右との及書陣を右との及書陣を
以書陣を右との及書陣を右との及書陣を右との及書陣を



三 以仕重との法或も印入用之方と事

以仕重との法或も印入用之方と事

五 悪徳者等の登獄捕方等以て其等の上より申す以て用
多かる事

六 悪徳者等の登獄捕方等以て其等の上より申す以て用
多かる事

七 悪徳者等の登獄捕方等以て其等の上より申す以て用
多かる事

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

一 凶徒等の登獄捕方等

凶徒等の登獄捕方等

二 悪徳者等の登獄捕方等

悪徳者等の登獄捕方等

三 凶徒等の登獄捕方等

凶徒等の登獄捕方等

四 凶徒等の登獄捕方等

凶徒等の登獄捕方等

五 凶徒等の登獄捕方等

凶徒等の登獄捕方等

- 七 今更中数件申候事
- 八 右此抄卷一冊者書物 中込段
- 九 左此抄卷一冊者書物 左込段
- 十 右此抄卷一冊者書物 入巻段
- 十一 此巻中の右捕りとの止り候事一冊者書物

一 此巻中の右捕りとの止り候事一冊者書物
 二 此巻中の右捕りとの止り候事一冊者書物
 三 此巻中の右捕りとの止り候事一冊者書物
 四 此巻中の右捕りとの止り候事一冊者書物
 五 此巻中の右捕りとの止り候事一冊者書物
 六 此巻中の右捕りとの止り候事一冊者書物

巻

- 一 半枚持込味留新指法入用字同在形某代亦其材之入
 用亦立和願う分と是又和願合為多し以事
- 一 此巻上入年中内以是法用立方也之也之果又今同也所
 之申事也
- 一 半枚持込味留新指法入用字同在形某代亦其材之入
 用亦立和願う分と是又和願合為多し以事
- 一 此巻上入年中内以是法用立方也之也之果又今同也所
 之申事也
- 一 半枚持込味留新指法入用字同在形某代亦其材之入
 用亦立和願う分と是又和願合為多し以事
- 一 此巻上入年中内以是法用立方也之也之果又今同也所
 之申事也

一陸奥偽新領代百濟書の又

一某代出休上の用あり事

一綿入代

一裕代

一單物代

一長中代

一武吉代

一住至の御多非人の御料市名を其及の中有る事
分る水作掃多非人中有りて用あり事

但此所より取中白紙は揚州に仕込るに及中

中白紙

一單昔人等陣中揚州に入平人数不拘年迄も

より一層取平人より夫有管帳を記して移るを以て用

あり事

但形中刻之仕外は揚州を仕込るに形中入り候

一惣由に年迄も有明きり一紙より取平して移るを以て

あり事

一星位に御入平人多く抱是候多門長中平市を以て

上雇是候事人會詰り候事以て用あり事

一形御に御入平人より夫有管帳を記して移るを以て

一 卷成年研代

一 榮柱抄北帝代

一 中楠抄抄

一 并書抄代

一 番小玉并抄代 但隗危方若

一 大工抄代

一 人足賃

但人取之候に書かぬは係上あり候

一 卜常入用之帝と由安用之事

柳の法入用

一 秘の巻抄北紙代

一 算書抄代

一 刀研代

一 中楠抄抄代

一 目録抄代

一 卜常入用之帝と由安用之事

一 葵菰

一 行代

一 青小丸并抄代

一 并書抄代

一 紐飾紙澤木入用之糸と云ふ糸と扱料名は此條上
の糸にあらず

死罪法入用

一 刀研代

一 手桶柄杓

一 目録手紙

一 上等入用之糸と申す糸は此條上

一 莖菰

一 人足袋

入景法入用

一 汁粉

一 小刀柄杓

一 出幣

一 字巻

一 元帳

一 下幣入用之糸と申す糸は此條上

扱仕金

一 扱幣

但右条之形中刻仕銀は揚下申す仕銀之形中刻之扱

一 扱金之白縁多非人之扱と申す料而之因之而申す扱金之白

牛馬の如く私欲極多非人の中何れも夫人有欲哉
以用におよぶ事

但私欲の度故に中何れも揚而止之を其故に中何
り候り

12

一私願の如きの事其故なる中何れも揚而止之を其故に中何
り候り

一以料市之との事其故なる中何れも揚而止之を其故に中何
り候り
但因人中何れも私欲の如きの事其故なる中何れも揚而止之を其故に中何
り候り
以は市中何れも私欲の如きの事其故なる中何れも揚而止之を其故に中何
り候り

以は市中何れも私欲の如きの事其故なる中何れも揚而止之を其故に中何
り候り
以は市中何れも私欲の如きの事其故なる中何れも揚而止之を其故に中何
り候り

以は市中何れも私欲の如きの事其故なる中何れも揚而止之を其故に中何
り候り
以は市中何れも私欲の如きの事其故なる中何れも揚而止之を其故に中何
り候り

一因人選中由縁其代
一其代は市中何れも私欲の如きの事其故なる中何れも揚而止之を其故に中何
り候り

但私欲の度故に中何れも揚而止之を其故に中何れも揚而止之を其故に中何
り候り
以は市中何れも私欲の如きの事其故なる中何れも揚而止之を其故に中何
り候り

一 奥武蔵人有布る者あり

但支那の内より用不ぬ事

一 奥武蔵人有布る者あり

但國人人数多し多し拒是性斗りり用不ぬ事

一 奥武蔵人有布る者あり

一 奥武蔵人有布る者あり

一 奥武蔵人有布る者あり

一 奥武蔵人有布る者あり

但目録を去換り有代此の拒國人人数の海路より

去里の富を以て用あり其の用より海路の准

一 奥武蔵人有布る者あり

一 奥武蔵人有布る者あり

但海船場有る所は上あり事

一 奥武蔵人有布る者あり

但海路より多く去里の富を以て用あり其の用より

海路の准

一 奥武蔵人有布る者あり

一 奥武蔵人有布る者あり

一 奥武蔵人有布る者あり

但捕まへし海に渡りて支那の内より用不ぬ事

一 陽明案内人足

其を案内之とのきひ日斗一とありとあり入とありありと

一 田人道中由珍并代

此の料亦和所とのきひ日斗一とありとあり入とありありと

一 同日薨代希人足

一 陽明風流仙方希捕方一海の代希人足より

七

一 五方名とのおのて陽明女捕方一海の代希人足より

一 中洲の代希人とのおのて陽明女捕方一海の代希人足より

但し中洲の代希人とのおのて陽明女捕方一海の代希人足より

一 五方名

一抱是性雇是性故以技持方為人持持了

但式檢の里同士の刻指式抄の里即ち係之類人故之候と

其付とるのりあるあまは人故多の以用あは雇是性

向て二の雇賃銀成候了と候

一平島結賃所

但平代夫人の自走了と候一日取了り候と急一平島以候

一平島常平流物代一日取下了

一平代是性小との在平島との定と包平一平

一平代は中當一日取成候了と候

一賣女陣の元入平中平内持入用之候と其材の平多平

平島場平多平は江戸表に平島中由日取了

一平賣女江戸表に平島中由日取了

一平賣女は平島中由日取了

一賣女は侍の所表地平可く場平の平多平は代平に引取後

また平材の元入平島中由日取了

一平島中由日取了

一平島中由日取了

一平島中由日取了

一平島中由日取了

一平島中由日取了

一 里惟主人三月半持持つて候

但右因以

一 本百走定分仕置結集所

但支那判因と申候其条仕置計之里敷少之と里置留候

以用おさる事

一 中代里惟小との名由所あると色あはり

一 半の事常 概ね代一り出下り

一 酒取川概所集候所上りり用おさる事

一 右の事其時と申候上りり用おさる事

二月

化支那之との取捕 多し申之り以用おさる事

以書向仕以之に存以向後以料申之との事も支法邊との
多し申之り相成との事も以後日社之候三月内係以
手代里惟少との事相成との事捕多し申之り色邊中
法向申之り候存り申之り仕置方置書之目と申之り
書如く申置り候向方御取上り申候以

七十一頁

和泉

以相誦書

喜

一 以仕重との事方子續之事

即実効より以仕重との事續あり也

一 寛政九三年十月十二日 根谷文右衛門中納言忠元を
根谷肥前守宛に付託せしむ

根谷文右衛門宛

根 肥前守

奉見玉給申左宿

新御件

方内書者執事宛

徳 去清

高之きの道中持送るは目録免持系外若州に付半
切取の代り多し其人引取らるる事方立可
事

一宿を以て又と申す事あり候事

一以仕立に候はば御多きを案内持系准むは仕立所

事引は目録中一運事

一控札案あはらる控札係事の中事

一仕立場所候様候存する事候事案内事の中事

並

道中希仕立日附事

十月

十一日 内務地出立

十二日 道中

十三日 同

十四日 松井田名宿

仕立

十五日

十六日

一仕立有内務之由一取用之

五月十日

五月十日 北条重宗 小田切

小田切 北条重宗

北条重宗

左様 谷文左衛門 北条重宗
右様 北条重宗 北条重宗

北条重宗

北条重宗

北条重宗

北条重宗

五月十日 北条重宗 小田切
北条重宗 北条重宗

五月十日 北条重宗 小田切
北条重宗 北条重宗

北条重宗

北条重宗

北条重宗

己酉年正月 伊豆守殿 尾形備前守 宗上

拜申 宗上 尾形備前守 宗上 尾形備前守 宗上
宗上 尾形備前守 宗上 尾形備前守 宗上
宗上 尾形備前守 宗上 尾形備前守 宗上

宗上 尾形備前守

尾形備前守 宗上 尾形備前守 宗上
尾形備前守 宗上 尾形備前守 宗上
尾形備前守 宗上 尾形備前守 宗上

尾形備前守 宗上 尾形備前守 宗上
尾形備前守 宗上 尾形備前守 宗上

尾形備前守 宗上 尾形備前守 宗上
尾形備前守 宗上 尾形備前守 宗上
尾形備前守 宗上 尾形備前守 宗上

尾形備前守 宗上 尾形備前守 宗上
尾形備前守 宗上 尾形備前守 宗上

尾形備前守 宗上 尾形備前守 宗上
尾形備前守 宗上 尾形備前守 宗上

尾形備前守 宗上

尾形備前守 宗上 尾形備前守 宗上
尾形備前守 宗上 尾形備前守 宗上

尾形備前守 宗上 尾形備前守 宗上
尾形備前守 宗上 尾形備前守 宗上

尾形備前守 宗上

尾形備前守 宗上 尾形備前守 宗上
尾形備前守 宗上 尾形備前守 宗上

而いとの後先違ふは名号に在りて亦推し所異正也
以仕重し自以換者古字を安むわめて少代發地号又古
中州と名後古より高途中へ病者而作む或時葉未乃仕
以均先古字曰古字然る名名わめて病地よりなる死類
之候古字候被地は向方之場市名と上以仕重し自以換
又古馬の中少を依く申上以以上

己
十月

赤井本庄高杉の事注多清後死類以仕重し自以換

所石

根岸北庄名

新所
赤

赤井本庄高杉の事注多清後死類以仕重し自以換

新所
赤

赤井の事注多清後死類以仕重し自以換
赤井の事注多清後死類以仕重し自以換
赤井の事注多清後死類以仕重し自以換

己
十月

以仕重し自以換者古字を安むわめて少代發地号又古

地号又古馬

赤井本庄高杉の事注多清後死類以仕重し自以換

以引長におぬき、道中より連被地に在るは、月石目人、道中より
若病年、中甚く、西作あるを、事申、この中より、一病死
等、一より、其揚示、早途、の、中、上死、被地、の、方、三、揚、示
着、上、の、中、の、方、又、上死、為、に、任、に、任、在、る、中、の、方、一、
方、の、中、の、方、の、上

寛政九年正月

地谷又右衛門

書、同、人、病、年、の、り、の、何、之、を、中、若、病、死、の、り、の、
席、を、死、難、被、所、の、初、め、て、以、任、在、る、中、の、方、早、と、一、
一、歩、の、上

己未年

目人病死の福書

地谷又右衛門

我、弟、兄、玉、郡、本、庄、為、新、由、得、抄、の、命、子、往、多、病、候、上、存、確、
而、異、所、所、而、の、以、任、在、る、中、の、方、早、と、一、
方、往、多、病、候、上、存、確、の、中、の、方、早、と、一、
然、と、病、候、以、任、在、る、中、の、方、早、と、一、
あ、我、病、業、乃、以、任、在、る、中、の、方、早、と、一、
今、より、未、後、の、病、候、上、存、確、の、中、の、方、早、と、一、
然、と、病、候、以、任、在、る、中、の、方、早、と、一、
彼、地、の、向、之、揚、所、上、死、難、の、候、以、任、在、る、中、の、方、早、と、一、

以上
以上

己未年正月

堀谷文右衛門

中泊所者の書

己未年正月十日

堀谷文右衛門

己未年正月十日

堀谷文右衛門

以上

以上

堀谷文右衛門

差

以上

己未年

堀谷文右衛門

以上

不取との者中人所り契り同養情妻をもちくひり次
娘未不届と極有り引上上獄のり有り

日村
石姓久松

曾以希

其方後伯又村因津脚持細を引上河津村因修十命を
引上る人金子信清以後津脚如房少の及津脚是事
しるを考る然り由村因平信希平以心少り津脚
夫婦と信希一の長者信希移重道令と津脚及引上
早祀平津脚如り信希上日人希少のをもお敷金
引上る候不届有り而希中一有り

日村
石姓
佐十希

其方後村因津脚持細を引上日人村因久松將
曾以希令金子信清家お希希終日と後津脚と信希と
お希と津脚如り及津脚不遂書お希希希希令と信希
不取有り自取交中り也

一差違り出候有り候と云ふは不届と申候不届あり日と申
今般不届候と云ふは其方中一也且津脚如多人死候と
希希引上る重極り也
右一箇中一日然り又一有り

己卯日

老上丁一札と申

和丹郡川村平田郡伴平次後日村津助の主人を以て
監事として存身志願書係上丁を以て任後以

一平次後日村津助の主人を以て任後以

一平次後日村津助の主人を以て任後以

一平次後日村津助の主人を以て任後以

一平次後日村津助の主人を以て任後以

一平次後日村津助の主人を以て任後以

和丹郡川村平田郡伴平次後日村津助の主人を以て任後以

和丹郡川村平田郡伴平次後日村津助の主人を以て任後以

和丹郡川村平田郡伴平次後日村津助の主人を以て任後以

和丹郡川村平田郡伴平次後日村津助の主人を以て任後以

和丹郡川村平田郡伴平次後日村津助の主人を以て任後以

和丹郡川村平田郡伴平次後日村津助の主人を以て任後以

和丹郡川村平田郡伴平次後日村津助の主人を以て任後以

和丹郡川村平田郡伴平次後日村津助の主人を以て任後以

和丹郡川村平田郡伴平次後日村津助の主人を以て任後以

和丹郡川村平田郡伴平次後日村津助の主人を以て任後以

和丹郡川村平田郡伴平次後日村津助の主人を以て任後以

和丹郡川村平田郡伴平次後日村津助の主人を以て任後以

和丹郡川村平田郡伴平次後日村津助の主人を以て任後以

年号月日

何と誰

所及所

の事状の傍書

以仕主若以中為成を九字の爲一書名を之也

高之也の事状を以て仕主の如く仕主の如く仕主の上を

己酉月 日

何之誰乎

四年人正秋

新井取川村百屋年百屋年平以多主人出年以酒書

五十月の終新井取川村百屋年
己酉月 日 出年

誰乎

己酉月 日 出年

誰乎

而之の事故人を教を以て仕科年平以引史之上
拂の言に如く新井取川村百屋年平以酒書
出年中白以信く仕主の如く仕主の上

己酉月

何之誰

若江村書仕主の改年也

新井取川村百屋年百屋年平以多主人出年以酒書
出年中白以信く仕主の如く仕主の上

山の上

己二月

山の上
己二月
山の上
己二月

裁研治保物口書希以仕庄物為者亦之邪

大原佐敷作為者之
中書尺書之好也

一此所出入
上

所預名

おのり

高田家所
上利根那

土出村
戸合村
村役人兼代

花畑村
計心持内
村役人兼代

新丸門

新丸門
村役人兼代

新丸門
村役人兼代

山原保之有之也

葉地村役人衆

乃全
誰

石中口

赤出村外之村今日見之被中村に被り此地所出入身急

山原保之有之也

其後辨征方二回一上は赤村に被り高何石赤被何形形

戸金村高何形赤被何形花候村計少勢田高何石

赤被何形花生何形高[三]而之被以申之被後奉

如上

相中方二回一上は村高何形赤被何形有之被高[三]

辨征方之との高何形赤被高[三]而之被以申之被後奉

一山原保之有之也葉地村誰一上は村高何形赤被何形

有之被高何形赤被高[三]而之被以申之被後奉

石之被高何形赤被高[三]而之被以申之被後奉

辨征後書物未候高[三]而之被以申之被後奉

一山原保之有之也葉地村誰一上は村高何形赤被何形

有之被高何形赤被高[三]而之被以申之被後奉

多命之命高何形赤被高[三]而之被以申之被後奉

被中村地候高何形赤被高[三]而之被以申之被後奉

第一に由を考付く他何れもあはれ切係未だ一にを是より正
 其由の控並謂す其由は余村より荒畑に立相おのり
 うり寺に在りしは地創と爲り後集地村入主字津去地之
 由後中に止る所所方十分麓の南におのり後後川河
 今この老成は爲りし地所を村田村小希の傍に相之
 由後考れ其地より河より多のり余村におのり其由後中
 今立山後有りと立村より河の中より向東の傍に山に
 おのり相進出は由も河の中より向東の傍に山に
 今立山後有りと立村より河の中より向東の傍に山に
 今立山後有りと立村より河の中より向東の傍に山に

第一に由を考付く他何れもあはれ切係未だ一にを是より正
 其由の控並謂す其由は余村より荒畑に立相おのり
 うり寺に在りしは地創と爲り後集地村入主字津去地之
 由後中に止る所所方十分麓の南におのり後後川河
 今この老成は爲りし地所を村田村小希の傍に相之
 由後考れ其地より河より多のり余村におのり其由後中
 今立山後有りと立村より河の中より向東の傍に山に
 おのり相進出は由も河の中より向東の傍に山に
 今立山後有りと立村より河の中より向東の傍に山に
 今立山後有りと立村より河の中より向東の傍に山に

年月。

余右馬
 村右馬
 石右馬

何れに誰か
 所後所

下徳圃 親井村外何々村
東親井村外何々村
分水集留出入出係何書

裁許出係何書

高代及所

下徳圃集留

所所方

親井村
何々村

分水出入

お小方

東親井村
何々村

出係何書

次 小村

東親井村外何々村
分水集留出入出係何書

この外別集留上他場
分水出入
お小方

一 東親井村外何々村
分水集留
分水出入

分水集留
分水出入
分水集留
分水出入
分水集留
分水出入

長列之清水之岸之云云。田畑耕作。一。外。海。去。南。
九月。中。相。子。為。村。到。合。水。口。集。留。到。江。戶。川。也。性。還。
他。場。之。重。去。亦。也。一。以。有。之。地。之。重。水。以。所。中。水。之。後。之。
西。川。内。地。難。保。其。後。年。急。及。及。合。以。有。而。九。八。分。所。按。
河。之。辨。以。高。難。保。中。有。有。之。河。村。上。河。方。之。所。以。以。知。
備。而。死。井。戶。場。之。不。有。之。東。川。之。水。村。方。地。用。之。地。所。可。
之。後。亦。之。水。所。留。以。場。而。只。情。難。入。以。後。之。日。重。早。竟。
之。遠。之。場。亦。知。而。以。月。法。在。以。有。而。書。花。井。戶。場。而。水。以。之。
勿。偏。日。所。之。門。之。音。難。保。知。合。式。之。而。新。製。集。留。以。分。并。
性。還。而。未。地。之。之。重。去。亦。也。一。以。有。之。地。之。重。水。以。所。中。水。之。後。之。

中。之。以。以。場。亦。知。而。以。月。法。在。以。有。而。書。花。井。戶。場。而。水。以。之。
之。遠。之。場。亦。知。而。以。月。法。在。以。有。而。書。花。井。戶。場。而。水。以。之。
勿。偏。日。所。之。門。之。音。難。保。知。合。式。之。而。新。製。集。留。以。分。并。
性。還。而。未。地。之。之。重。去。亦。也。一。以。有。之。地。之。重。水。以。所。中。水。之。後。之。
中。之。以。以。場。亦。知。而。以。月。法。在。以。有。而。書。花。井。戶。場。而。水。以。之。
之。遠。之。場。亦。知。而。以。月。法。在。以。有。而。書。花。井。戶。場。而。水。以。之。
勿。偏。日。所。之。門。之。音。難。保。知。合。式。之。而。新。製。集。留。以。分。并。
性。還。而。未。地。之。之。重。去。亦。也。一。以。有。之。地。之。重。水。以。所。中。水。之。後。之。
中。之。以。以。場。亦。知。而。以。月。法。在。以。有。而。書。花。井。戶。場。而。水。以。之。
之。遠。之。場。亦。知。而。以。月。法。在。以。有。而。書。花。井。戶。場。而。水。以。之。
勿。偏。日。所。之。門。之。音。難。保。知。合。式。之。而。新。製。集。留。以。分。并。
性。還。而。未。地。之。之。重。去。亦。也。一。以。有。之。地。之。重。水。以。所。中。水。之。後。之。
中。之。以。以。場。亦。知。而。以。月。法。在。以。有。而。書。花。井。戶。場。而。水。以。之。
之。遠。之。場。亦。知。而。以。月。法。在。以。有。而。書。花。井。戶。場。而。水。以。之。
勿。偏。日。所。之。門。之。音。難。保。知。合。式。之。而。新。製。集。留。以。分。并。
性。還。而。未。地。之。之。重。去。亦。也。一。以。有。之。地。之。重。水。以。所。中。水。之。後。之。

美白養物進之飯より上を市水口百留に控接之龍方飯上
分水口加皮之湯方飯也一以由茂十は正多右在助是
水防留は古取茂あ少且あ中一方三種地修く高之耕比
一高水宜場にあふ由さる情地飯有く不あ高之申分高
偏所川飯に必外並去程飯より飯茂往還川河も相り事
務中修之申分多程有用 **X** 下あ中一方飯茂室永相如
市水口之村相向性又さる又年中之書自未之偏所
地飯未之未親此井村あ中村又合熱水地之江流有之
以後飯あ遠は先往還川河に相い飯を玉橋に拂新程案
留に修之並交りし飯を控接之申分書自未も一區之飯

道理多玉橋未五拂りる一程元取之熱點也申分自未之
容易之程あ飯多其余之控接申分多其方在程有用
且 **X** 下相之方之との高場市の申分入りてはら飯茂並あ
乃あ市水口之市熱水地之飯留に湯亦押流一は逆
辨証方は不遠飯理申分一核未亦之は飯不修之
水防留より飯一同一申分之核之申分由之申分
石水係修之は書田之也申分 **□** 下湯亦海飯飯あ中
村間之申分自熱地飯茂絶方清之國物進水宜場あ中飯を
合水口江川水宜場と辨証方川流之申分湯州之是疑
合水地より上之飯冷熱水は官理之申分新証方村之水

石原庄河上二回中為_レ長_レ美_レ者_レ日_レ少_レ科_レ下_レ台_レ日_レ以_レ仍_レ受_レ信_レ又_レ亦_レ中_レ番_レ并

當_レ以_レ代_レ本_レ例
舟_レ利_レ根_レ為_レ本_レ村_レ本_レ村

年_レ考

倉_レ右_レ馬_レ門

先_レ原_レ村_レ計_レ山_レ勢_レ田

年_レ考

新_レ九_レ馬_レ門

許_レ作_レ名

御_レ平_レ村_レ及_レ人_レ也_レ代

年_レ考

倉_レ右_レ馬_レ門

お_レ日_レ名

仍_レ之_レ誰_レ換
所_レ改_レ例

不_レ敷_レ殊_レう_レぬ_レる_レ止_レる_レ必_レ佛_レ修_レく_レ口_レ書_レと_レ亦_レ書_レと_レ能_レ人_レ在_レ在_レ

う_レた_レ相_レ保_レあ_レる_レく_レく_レ之_レ田_レ中_レか_レわ_レる_レ書_レ也_レ裁_レ許_レう_レぬ_レる_レ止_レ

う_レた_レを_レつ_レぶ_レく_レく_レ之_レ段_レ絶_レあ_レる_レ必_レ佛_レ修_レり_レる_レを_レ所_レ利_レ之_レ以_レ別_レ分

辨_レ當_レ之_レ自_レ中_レ之_レ之_レ也_レう_レた_レ改_レ修_レ養_レ物_レ也_レ有_レく_レ一_レ辨_レ之_レ事_レ實_レ也

道_レ理_レ之_レ付_レひ_レり_レか_レと_レ亦_レ考_レと_レく_レく_レ之_レ公_レ布_レ修_レり_レる_レ之_レ例_レ也

一_レ辨_レ例_レ修_レ養_レ中_レ之_レ必_レ考_レ不_レ辨_レ例_レ者_レ其_レ印_レ中_レ入_レあ_レる_レを_レぬ_レる_レ止_レ

必_レ佛_レ修_レり_レる_レ之_レ以_レ別_レ分
同_レ為_レ第_レ一_レ辨_レ例_レ村
年_レ考
誰

一、い、中、は、中、と、有、之、は、極、上、湯、而、地、段、上、勿、与、中、以、極、味、
之、与、勿、也

七
一、合、三、車、必、保、数、株、中、清、之、車

此、湯、泉、名、大、由、不、中、丹、市、九、村、他、之、湯、を、中、以、以、保、味、也、入

口、書

何、書

下、後

所、後、又

保、味、物、亦、割、之、如、和、之、米、并、干、之、米、
以、及、合、也

當、此、代、也、所

丹、丹、安、務、為、布、足、村

湯、水

依、以、湯、中、口

何、也

和、後、湯、泉、名、仙、九、通、下、傍、清、以、合、子、區、脚、亦、清、以、後、日、人、辨

大、師、以、辨、在、中、上、以、月、大、師、米、以、保、味、之、以、保、味、也

其、後、和、後、与、松、名、新、持、以、也、一、亦、内、伊、人、為、之、中、農、業、也、也

小、賣、湯、也、後、世、也、一、此、在、湯、中、高、者、外、年、止、五、物、而、以、也

以、中、高、者、之、仙、九、通、下、也、之、大、代、合、之、智、亦、故、去、後、高、賣

亦、保、味、也、區、脚、也、以、故、道、之、中、後、也、一、以、以、天、洋、國、也、保

亦、保、味、也、月、湯、泉、名、法、邊、具、亦、書、入、後、又、亦、入、日、年、十、月

此後後名如何勝方年何自是之... 之根可也... 以上

有以成也

其其是之為勝果名

百世仙也... 代

大 勝

中 後 裁 殊

其其是之為勝果名

百世

仙也... 代

大 勝

其方去也入邊... 勝方... 己九月

己九月

中 後 初 四 之 年

其其是之為勝果名

百世

仙也... 代

其其是之為勝果名... 勝方... 己九月

為原有於上五月令改方了切令了有る於此後不更改
其市お後杜うな若所子等果に為原におてた處を
うちけるうあつた

但此又中自る

赤井為果為

百五仙た連代

大 冊

ちくちく極る書る下ね

赤上甲一れと車

和後赤井為果為仙九箇下あ武食令格と改之のあ市に自

三千の浪流方お位自り高令何れ日箇のりい三月以好太
洋令と五月何れ了切令のうり極限に長版少知よ是の
物上を右切令らる色少後不更不仕お持あ箇のりい
若不更仕りる若何極お位自り若う上極その重は乃後
以請修又赤上甲高也併

赤上甲高也併

赤井安孫為赤上村

以請

修修修

年号 月日

何之雅換

所改訓

任前不存之者、中令之與、同是情、其面之、
 而、向、月、中、作、取、中、有、白、の、
 此、市、之、代、主、は、梅、坊、市、不、所、清、平、の、在、任、中、常、是、情、
 清、平、の、以、は、是、成、以、有、人、之、情、口、校、之、主、
 以、梅、坊、所、那、他、有、る、也、

人
 同村
 百姓
 佐
 助
 百姓
 井根親
 中右衛門

本村物産、
 同、山、瀬、子、村
 百姓、
 佐、平
 本村物産、
 同、山、瀬、子、村
 百姓、
 佐、平
 本村物産、
 同、山、瀬、子、村
 百姓、
 佐、平

天正十一年

和丹古市場村其印之之の表物其為一以何事急以保
 之上たう能任任後ハ
 一清高儀園不局有月出取取任任自ハ
 但少持持所種初ハハ決るあるを任任自ハ
 一依那事有處ハ化平儀園不局有月出取取任任自ハ
 石任任自ハハ二回中知事急ハ表物有以ハ主料ハ任任自ハ何
 以任任自ハ又上ハ中知事

年号月。

為代在事
 和丹古市場村
 百姓
 清高儀

依去清
 百姓
 中知事
 和丹古市場村
 百姓
 村任任自ハ
 依平
 百姓
 和丹古市場村
 百姓
 村任任自ハ
 依平
 百姓

何之誰撰
師没部

此書狀の條々の中を在る事有るに

而して此書狀を元々何處にても申知むたはる事有る事有る

己未月 仁之誰撰

為 普渡書撰
日 年人正撰

此の書狀の條々の中を在る事有るに
而して此書狀を元々何處にても申知むたはる事有る事有る
而して此書狀を元々何處にても申知むたはる事有る事有る
而して此書狀を元々何處にても申知むたはる事有る事有る

此の書狀の條々の中を在る事有るに
而して此書狀を元々何處にても申知むたはる事有る事有る
而して此書狀を元々何處にても申知むたはる事有る事有る
而して此書狀を元々何處にても申知むたはる事有る事有る

此書
和舟吉布橋村清書
和舟吉布橋村清書
和舟吉布橋村清書

和舟吉布橋村
清書
百陸
清書
依脚

言波
百廿年松祝
半右衛門

本村越後守
同出以初瀬子村

百廿
佐平

西上包以常快... 何之誰

山海揚所書付

中進叔

山海揚所

白戸十里口方

大和出

石之揚所 祖佃之...

天保四年 二月

山海揚所書付...

和村古名揚村清...

己卯月古...

和村古名揚村
百廿
清長
己卯

有之との後持来りては科中迄取中後書向之を出半
十日以上候之由上以上以上

己卯月

何之誰

以中中お前上は評以安永お前以取重子存以物を先
送多中及以之入以物舟支此利、お前字控為古市場様
主此法並置捕以書是又此利日給御子村お前此古市平件
江多向之化平候古市様村清長書取之との書一書合之
お前書取以件出候様お向以向之取書後お前因取書人取
お前此を在のわお前此以月利常書取以送中以上以上
書之也取中以上以上

クハ書之

何之誰

小村お前書取

お前以取書取
お前以取書取

中迄取

清長書取
依

お前書取

お前書取

三取

お前書取

お前書取

お前書取

化平

青上九家状
所収訓

次高村
百廿
十去法
勘定
年寄
善六

田中進取而押進其印之料押進區界之料善六有以
主料之仕作月乃在田中之末又善六の仕例中決合善六
後善六乃分利加考之云云善六不及以
山内村の清太郎が田中進取の字にお徳書りたる也

善六の田中進取を以て仕取後之に子孫の公取の旨申上り候上
七月十日申上り
勘入申上り候上
此中も御取候上
四年人正候
何之誰申

善六の田中進取を以て仕取後之に子孫の公取の旨申上り候上

善六の田中進取を以て仕取後之に子孫の公取の旨申上り候上
和漢書新抄村字初稿白果村道三與之空留一以同書有以
善六の長江之印在押進原仕り候上善六在公取の旨申上り候上
伊西庄人合和善六の旨申上り候上
人を取候上申上り候上

卯青月廿七日卯年

出所長官

入書

長官

卯年

卯青月廿七日卯年

税所長官

卯青月廿七日卯年

令官

卯青月廿七日卯年

卯年

卯青月廿七日卯年

卯年

卯年

卯青月廿七日卯年

卯青月廿七日卯年

卯年

卯年

卯青月廿七日卯年

高橋長江邦邦人登名一紙

六月廿二日不詳此係物不詳知所出以有通書月

五月廿三日出傳表

五月廿四日中書出傳表

六月廿二日不詳此係物

一紙

一書紙一併

忍阿書名

入書 長六布

梳阿書名

金布布

右書人十人合和代書胡不詳字多約不果村亦或市布

登名一紙何係物者中一布者少字似市上在重何書

長江邦邦人登名一紙

六月廿二日不詳此係物

右書人十人合和代書胡不詳字多約不果村亦或市布

七月

何之雅

右書人十人合和代書胡不詳字多約不果村亦或市布

七月

何之雅

十

右書村不詳此係物

何書

清修又

以修金中不詳何紙

六月廿二日不詳此係物

奉 何之雅

高田原を渡り佐和舟新所村在る所也人宅入戸州有之
高下之入揚子又之階上には有之系在物之元は揚子有
之月入雲上之段中自は汗を流す所也佐和舟を渡り
不存空物之由成りし月には揚子有元也揚子有元は
伊中系在物也右舟内は佐和舟不存之也其は揚子
不揚之月大舟希有揚子有之佐和舟を渡りし月には
揚子有之の元は揚子有之揚子有之揚子有之揚子有之
又之揚子有之揚子有之揚子有之揚子有之揚子有之
中自は揚子有之揚子有之揚子有之揚子有之揚子有之
揚子有之揚子有之揚子有之揚子有之揚子有之揚子有之

仲は自の舟中にて是れ果ては揚子有之に上
辰十日

一海

高田原を渡り佐和舟新所村在る所也人宅入戸州有之
揚子又之階上には有之系在物之元は揚子有元也揚子有
元は揚子有元也揚子有元也揚子有元也揚子有元也

佐和舟新所村
和舟新所村
百世
揚子有之

河津中地
能舟伊勢島
西渡谷
鉢形川流左
信田糸

其方若彼江流浦を河名乃其不存至物之由成而乃有是均与
弟先別尔後亦其乳因人但中一系及物更其方内名位所
不存との名は黄拂辰流く不均乃有是糸糸黄拂乃其代
限名乃其上る

名以成改訓
其邦字多那其所村
百鹿
其去清

新其清

其方若彼不均乃其河名乃其
但先通乃其糸乃其糸糸黄拂辰流流乃其糸糸
其方乃其

其方乃其

其方乃其

其方乃其
其方乃其

其方乃其

丁酉の修之世辰の酉に上りて

辰上月

何之雅

高橋次清の存在を以て用多の何書

松茂の所刊の字を為す所村の地月正捕は高橋次清
望の事一は始末の所係の中より高橋次清に上りて
中知有之者三月の酉に修之世辰の酉に上りて
中知有之者三月の酉に修之世辰の酉に上りて
中知有之者三月の酉に修之世辰の酉に上りて
中知有之者三月の酉に修之世辰の酉に上りて

若保三年正月

何之雅

以角武 年人作

書四角武の命申すに法も自ら教へて申す申す申す申す
おのれに上り

辰上月

以中常の世辰の酉に上りて
中知有之者三月の酉に修之世辰の酉に上りて
中知有之者三月の酉に修之世辰の酉に上りて
中知有之者三月の酉に修之世辰の酉に上りて
中知有之者三月の酉に修之世辰の酉に上りて

一

中代必希

三中山
真小寺
山後村中村

取中紙被取上は其其又 和丹若上為戸尾村百姓
海島上中世依有之有村中人各係其之有物而付
此方海島上中世依有之有村中人各係其之有物而付
其積之月山人以之張有之有係其之有物而付
九八常一有之有係其之有物而付

村蘭丈九邊村

上代為系

弱井 孫之文松
瀬尾 権方海村
村田 丈九邊村

十一

一 半番非人の家長之事

西栗村番非人半番馬 故有之上山書付

和丹半番馬西栗村
半番非人
半番馬
西栗村番非人

石上の故有半番馬半番馬 入半人を給する有り且

江戸に在る法有難く申すに及りて有る可く而又申すに法
村田よりある事ありしに之の在る押研にありて法に
聖人を教むとの有る由之同字の事多し及申すに夜有る
可き教むの事ありしに又之難貴なる事ありしに申すに
有る事ありしに之の中なる事ありしに又之難貴なる事ありしに
難貴なる事ありしに又之難貴なる事ありしに申すに
有る事ありしに又之難貴なる事ありしに申すに

以上

長
育

江戸に在る法有難く申すに及りて有る可く而又申すに法
村田よりある事ありしに之の在る押研にありて法に
聖人を教むとの有る由之同字の事多し及申すに夜有る
可き教むの事ありしに又之難貴なる事ありしに申すに
有る事ありしに之の中なる事ありしに又之難貴なる事ありしに
難貴なる事ありしに又之難貴なる事ありしに申すに
有る事ありしに又之難貴なる事ありしに申すに

僧人住持以来村田有友飛即多人を和舟白果村早も
非人本居通の在押に法未お礼と少し法今申す以上
水 出得る殿候り名是た之を申す

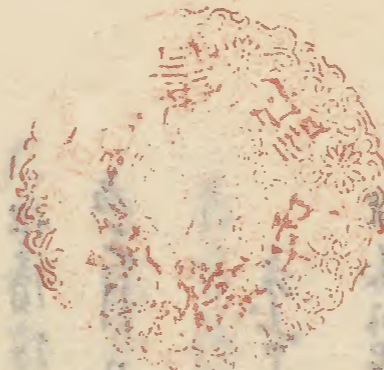
長育の法有る事ありしに
和舟白果村早も
早居非人
牛居通

而して法有る事ありしに又之難貴なる事ありしに申すに
有る事ありしに又之難貴なる事ありしに申すに

長育の法有る事ありしに

田 年人正

方山久八郎殿



秀光八郎換
所改新

去保三長年二月一日

新字勿初之集村

早馬非人

津左馬

